## 応募書類作成要領

# 1. 履歴書(※書類と併せて WORD ファイル等のデータを電子媒体(USB メモリ、CD-R 等)で提出すること。)

- 1) 書式は、A4 判(縦) 横書きで作成すること。(別紙「履歴書作成例」参照)
- 2)メールアドレスは、選考の過程においての諸連絡に使用するので正しく記載すること。
- 3)連絡先は、電話、郵便等での連絡先とし、勤務先又は自宅のいずれかを記載すること。
- 4) 学歴は、高等学校卒業以降、大学卒業又は大学院修了までの学歴を全て記入すること。
- 5)研究生などの履歴は、職歴欄に記入すること。
- 6) 職歴は、大学卒業又は大学院修了以降の履歴を、空白期間のないよう簡潔に記入すること。
- 7)職名、所属講座などの記載方法は別紙「履歴書作成例」に従い、重複期間のあるものには説明を付すこと。
- 8) 賞罰には、刑事罰のみではなく、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。
- 9) 所属学会は、全国規模以上の学会のみを記載すること。
- 10) 学術賞等は全国規模以上の学会賞等を対象とし、大学内での受賞等は対象外とする。
- 11) 外国出張等は、その期間が2ヶ月以上の外国出張、留学等について記載すること。また、出張先等、当時の身分は原語で記載すること。
- 12)業績内訳は、「2.業績目録2)の①~③」に記載した事項について集計し記載すること。
- 13) 業績内訳の(著作数) 欄については、総数を記載し、単著、共著をそれぞれ内数で記載すること。
- 14)業績内訳の(学会発表回数)欄については、総数と、応募者が発表した数を()内に記載すること。

# 2. 業績目録(※書類と併せて WORD ファイル等のデータを電子媒体(USB メモリ、CD-R 等)で提出すること。)

- 1) 書式: A4 判(縦) 横書き
- 2)①著作(著書、論文。ただし、学会の abstract、 proceedings は除く)、②学会発表等、③その他、の順に記載し、それぞれに通し番号を付すこと。
- 3) 著者名(応募者名にアンダーラインを引くこと)、表題、誌名・書名、巻数、頁(始~終)、発表年 (年代順)、査読の有無を記載すること。
- 4) 主要な業績 5 点に○印を付すこと。
- 5) 現在印刷中の論文については、その旨を記載すること。
- 6) 参考資料
  - ① 「2. 業績目録 4)」により〇印を付した主要業績 5 点についての要旨(**別紙「主要業績要旨** 作成例」参照)
  - ②○印をつけた主要業績の内容を盛り込んだ業績内容の概要(A4判(縦)横書き:日本語 2、000字以内) (別紙「業績内容の概要作成例」を参照)
  - ③教育に関する実績
    - i)担当授業科目一覧

A4 判(縦) 横書で、2023 年度及び 2024 年度の担当授業科目等について記載すること。他大学 等の授業担当科目等もすべて記載 (「授業科目名」欄に大学名等を記載) すること。)

## (作成例)

## 担当授業科目一覧表(2023、2024年度)

授業科目名	担当年度	年間担当時間数	特記すべき授業内容
○○学 ○○学演習(○○大学○ ○学部)	2023、2024 2024	前期30時間 通年45時間	

(教育に関する特色等があれば記載してください。

ii) 統括・運営に関わる経験を、上の表に準じて記載すること。

例:カリキュラムの見直し、教材(テキスト)の作成または見直し、非常勤講師との連絡 調整、時間割調整等

④FD・教育セミナー等の企画・参加状況について

#### (作成例)

主催	年 月 日	名
○○大学○○部	2022年6月	チュートリアル F D参加
○○大学	2023年9月	全学F D企画・実施
文部科学省	2024年7月	○○教育指導者のためのWS企画

#### ⑤学内・学外での委員歴

#### (作成例)

(11 // 41/ 1/		
年	度	名
2024年度		○○大学○○学部教務委員会(副委員長)

## ⑥科学研究費補助金、その他の助成金の受領状況一覧

(A4 判(縦)横書で、代表・分担の区分順に、省庁等名、名称(種別)、受領年度(継続の場合は初めの年度から終わりの年度まで)、金額総額(間接経費を含む。分担の場合も総額を記載すること)、研究課題名、研究分担者の場合は代表者の研究課題名、所属機関及び職・氏名を記載すること。)

#### (作成例)

#### 科学研究費補助金等受領状況一覧表

区分	省庁等名	名称(種別)	受領	金 額	研究課題名	備考
			年度			
代表分担	文部科学 省 文部科学 省	科学研究費補助金(一般研究B) 科学研究費補助金(基盤研究B)	2018 2019 ~ 2020	千円 3,000 4,000	00000 00 00000	代表 ○○大学○学部教授 ○○○○
研究協力者	文部科学 省 厚生労働 省	科学研究費補助金(基 盤研究B) 特定疾患研究費補助金	2021 ~ 2024	8, 000 7, 000	00000 00 00000	主任研究者 ○○大学○学部教授 ○○○○

#### (7)国内·国際特許取得狀況一覧

(A4 判(縦)横書で、現在までに取得した国内・国際特許について作成し、それぞれ取得を証明できる書類のコピーを添付すること。※出願のみや公開中のものはその旨明記すること。)

## (作成例)

国内·国際特許取得状況一覧

特許種	名称	特許番号	出願·取得年月	
別			日	
国内	000000000000000000000000000000000000000	2000-12345 2001-67890	2018 2021	取得 出願

- ⑧○印をつけた主要業績5点を評価引用してあるテキストブック、レビュー等があればそのコピー
- ⑨履歴書(作成例)「10.資格」に記載した資格を証明するもの(認定書のコピー等)

## 3. 論文等別刷

1) 「2. 業績目録 2)の①著作(著書、論文)、③その他」については、すべて別刷又はコピーを添付し、別刷には業績目録と照合しやすいように対応する番号を付すこと。

- 2) 現在印刷中の論文については、校正刷又は投稿原稿のコピーに掲載許可証明を添付すること。
- 3) 電子ファイルでの提出が可能な場合は、USB メモリ又は CD-ROM で電子ファイルも提出すること。
- 4. 教育・研究、社会貢献等に対する今までの取組と着任後の抱負 (A4 判(縦) 横書き:日本語 2,500字以内)

(別紙「教育・研究、社会貢献等に対する今までの取組と着任後の抱負作成例」参照) (※書類と併せて WORD ファイル等のデータを電子媒体 (USB メモリ、CD-R 等) で提出すること。)

			履		歴	書			
1.	ふりが 氏	な 名	0000	000	0			写正	真面
2.	生年月	日	(西暦)○年(	00月00	)目(()	○歳)		縦4cm>	
3.	現	職	〇〇大学〇(	)学部((	○講座)	講師			
4.	所属機関伯	<b>E</b> 所	〒〇〇〇一( 〇〇県〇〇i (電話)		) 0 1 -	2-3 -	〇〇大学〇〇学部 (内 )	ß	
5.	現住	所	〒〇〇〇一( 〇〇県〇〇F (電話) (携帯管	) (	)	2 – 1 –			
6.	メールアド	レス	00000	0000	. 00. a	ac.jp	)		
7.	連絡	先	勤務先・	自 宅					
8.	学	歴	(西暦)○年( (西暦)○年( (西暦)○年( (西暦)○年( (西暦)○年( (西暦)○年(	OO月 OO月 OO月 OO月 OO月	〇〇大学 〇〇大学 〇〇大学 〇〇大学	大学院〇 大学院〇	入学	₹程修了 ₹程入学	
9.	学	位	(西暦)○年(	〇〇月	博士(○	O) (O	○大学甲○第○○	)()号)	
10.	資	格	000000	000	〇〇年〇	0月00	日(第〇〇〇号	$\left(\frac{1}{T}\right)$	
11.	職	歴	<ul><li>(西暦)○年(</li><li>(西暦)○年(</li><li>(西暦)○年(</li><li>(現在に至る</li></ul>	DO月 DO月	〇〇大学	○○学部	究部○○研究員 (○○講座)講師 (○○講座)准教授	Ţ.	
12.	賞	罰	(西暦)○年(	〇〇月	〇〇学会	奨励賞			
	所 属 学 (役員名、委		日本〇〇学会 外国の学会(			△学会、			
	外 国 出 張 (留学・研修		(西暦)○年( 米国○○Un (原語表記)				)○ (Visiting Pr	rofessor)	

15. 応募者について意見を求め得る者2名の連絡先(氏名・所属・連絡先・メールアドレス等)

※生年月日、学歴、職歴等の年号は、西暦で記載のこと

# 16. 業績内訳

# 記載例:

## (著作数)

著作数内訳	著書	E =	論文		
<u>看作</u> 数的訊	和文	和文以外	和文	和文以外	
単著	1	3	18	8	
単著 共著	6	1 0	7	4	
総数	7	13	2 5	1 2	

## (学会発表回数)

() AZZADA					
国際・国	国外学会	<u>日本</u> 国内全国学会			
講演	シンポ゚シ゛ウム等	講演	シンポジウム等		
2 0	1 5	2 5	2 0		
(15)	(10)	(15)	(10)		

※ ( )は演者で内数を記載

(その他:文化的業績)

/ <del></del>	生1110年
作品	製作物
2 0	1 5

# (主要業績要旨作成例)

# 主要業績要旨

		氏 名(	)
論文番号	6		
全著者名	0000, 0000, 0000, 0000, 0000	$\supset$	
論 文 名	000000000000000000		
雜 誌 名	000000000000		
論文要旨	000000000000000000000000000000000000000	000000000000	
	00		
	○○ (日本語200字程度)		
	00		
論文番号	1 3		
全著者名	0000, 0000, 0000, 0000, 0000	$\supset$	
論 文 名	00000000000000000		
雜誌名	000000000000		
論文要旨	000000000000000000000000000000000000000	000000000000	
	00		
	○○ (日本語200字程度)		
	00		

〔以下省略〕

## (業績内容の概要作成例)

## 業績内容の概要

※日本語2,000字以内にまとめること。	氏 名(	)
私の研究は、○○○○及び○○○○に関するものであり ○○○○に関する研究、3)○○○○○○○○○及び○○○	. ,	

## 1) 〇〇〇〇に関する研究

○○○○を用いて○○○○について検討し、○○○○○○○(著書4)、○○○○○○(論文12)、○○○○(論文21、30)、○○○○を明らかにした(著書6、7、論文8)。

## 2) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ に関する研究

(中略)

## 3) ○ ○ ○ の ○ ○ ○ ○ 及び ○ ○ ○ ○ に関する研究

(中略)

私の研究の特色は、○○○○、○○○○である。近年は、○○○○の研究、○○○○の研究に主眼を置いている。

また、私の○○○○に関する研究は、○○○○である。

# (教育・研究、社会貢献等に対する今までの取組と着任後の抱負作成例)

教育・研究、社会貢献等に対する今までの取組と着任後の抱負

氏 名( )

※日本語2,500字程度にまとめること。